

鬼鬼クイズQ1 「鬼の異名を持つのは誰だ!？」

Q.「鬼」という言葉は、「力強い」「恐ろしい」「厳格な」人物を評する際に用いられることがあるよ!下記の、鬼の字を含む異名で呼ばれた人物は誰か分かるかな?



1.「鬼の副長」

- A. 高杉晋作 B. 長谷川平蔵
C. 林子平 D. 土方歳三

2.「丹波の赤鬼」

- A. 赤井(荻野)直正 B. 柴田勝家
C. 長宗我部元親 D. 松永久秀

3.「画鬼」

- A. 伊藤若冲 B. 葛飾北斎
C. 河鍋暁斎 D. 雪舟

鬼メモ

福知山市大江町にある
大江山には酒呑童子物語を
含め3つの鬼伝説が残っているよ!

■答え

1. 「鬼の副長」－ D. 土方歳三
2. 「丹波の赤鬼」－ A. 赤井(荻野)直正
3. 「画鬼」－ C. 河鍋暁斎

■解説

1.

D. 土方歳三 (1835～1869)

幕末の剣士。文久3年(1863)に幕府の浪人募集に応じ、上京。近藤勇らと組織した新選組の副長となる。戊辰戦争における新政府軍との戦いのなか、函館五稜郭で戦死。

A. 高杉晋作 (1839～1867)

幕末の尊王派志士。長州藩士の子として生まれ、松下村塾に学ぶ。文久3年(1863)、藩内の農民、町人らを含めた奇兵隊を組織する。慶応3年(1867)病没。

B. 長谷川平蔵 (長谷川宣以) (1745～1795)

江戸幕府の旗本。1786年、火付盗賊改(放火犯や盗賊、博徒などの取り締まりを行う職)となる。長谷川平蔵は通称。池波正太郎の小説「鬼平犯科帳」の主人公「鬼の平蔵＝鬼平」として知られる。

C. 林子平 (1738～1793)

江戸時代中期の経世家(*)。海防論者。『三国通覧図説』等を著す。蒲生君平(1768～

1813)・高山彦九郎(1747～1793)とともに「寛政の三奇人」と称される。

*江戸時代に経世済民の具体策を説いた在野の知識人

2.

A. 赤井(荻野)直正(1529～1578)

戦国時代の武将。黒井城城主。織田信長の命による明智光秀の丹波攻めに抵抗し、八上城の波多野氏とともに戦うが、天正6年(1578)に病没。これにより織田軍の丹波制圧が早まったとされる。

B. 柴田勝家(1522?～1583)

戦国時代の武将。織田信長に仕え、信長の妹・お市の方を娶る。本能寺の変の後、豊臣秀吉と対立し、賤ヶ岳の戦いで敗れる。

C. 長宗我部元親(1539～1599)

戦国時代の武将。1575(天正3)土佐を統一。1583年には四国全域を支配するが、織田信長、豊臣秀吉の征伐によりその支配下に入る。幼少時は大人しい性格から「姫若子」と揶揄されていたが、長じてのちは、敵兵を突き崩す様から「鬼若子」と賞されるようになった。

D. 松永久秀(1510～1577)

戦国時代の武将。はじめ三好長慶に仕え、永禄2年(1559)に奈良に多門城、信貴山城を築く。その後は織田信長に従うが、のちに背き信貴山で敗死。

3.

C. 河鍋曉斎(1831～1889)

幕末～明治期の浮世絵師。はじめ歌川国芳に浮世絵を学び、その後狩野派に師事。流派に縛られない多彩な絵を残す。弟子にイギリスの建築家、ジョサイア・コンドルらがいる。

A. 伊藤若冲(1716～1800)

江戸中期の画家。京都錦小路の青物問屋の子として生まれる。40歳のときに家業を譲り、画業に専念。主要作品に『動植綵絵』、『野菜涅槃図』などがある

B. 葛飾北斎(1760～1849)

江戸末期の浮世絵師。代表作に『富嶽三十六景』がある。改号の癖があり、生涯30回近く改号したといわれている。

D. 雪舟(1420～1506)

室町時代後期の画僧。応仁1年(1467)に明に渡り、本場中国の水墨画技法を学ぶ。主要作に『四季山水図』『天橋立図』などがある。